

小学校区編制にかかる基本計画（案）

就学前児童の保護者対象説明会 主な意見まとめ

斎宮幼稚園 ①令和2年10月12日（月）14：00～14：55 参加人数：18人

②令和2年10月15日（木）14：00～14：50 参加人数：18人

<自由校区について>

- 私の子の場合、2年生時に斎宮小学校の自由校区が始まり、4年生で再編小学校へ行くことになる。転校しなくても良いように最初から上御糸小学校に通わせたい（北野地区）。
- 勝見地区は私の子の他に児童がいないので、北野地区の通学団に入っている。さらに未就学の子もいるが、この先北野地区が自由校区となった場合、再編小学校と斎宮小学校のどちらに通うことになるのか（勝見地区）。
- 北野地区の子が全員再編小学校へ行ってしまうと斎宮小学校の児童数が減りすぎるので、自由校区の区割りなどもう少し検討すべきでは（勝見地区）。
- 自由校区について、2年後には確実に再編小学校へ通うことになるのか（北野地区）。

<スクールバスについて>

- 町バスの運転手は在所を通る際など信号無視して危ない。スクールバスの運転手は安心して任せられる方にしてもらえるのか（下御糸地区）。

<ささふえ保育所の移転について>

- 校区再編と同時に、ささふえ保育所に通っている児童は転園となるのか（下御糸地区）。

- ささふえ保育所 ①令和2年10月13日（火）16：30～17：20 参加人数：7人
②令和2年10月16日（金）17：00～17：50 参加人数：10人
③令和2年10月20日（火）17：30～18：30 参加人数：7人

<スクールバスについて>

- 上の子と下の子が3学年離れている。スクールバスで帰ることになった場合、できれば一緒に帰ってきてほしいが、下の子の方が早く授業が終われば子どもを見てもらえる場所があるのか。バラバラで帰って来ざるをえないのか（田屋地区）。
- これまで学校まで歩くことで体力を付ける部分があったが、停留所ができて歩く距離が短くなり、体力が付きにくくならないか。またお兄さんお姉さんと歩く楽しみも薄れないか（中村地区）。

<再編小学校の施設について>

- 現在の学校は雨や行事の際等の送迎車で混雑する。再編小学校ではそういった際のスペースを必ず確保してほしい（上御糸地区）。
- 再編小学校の計画図ではプールが無いが、プールは整備しないのか。娘が楽しみにしているが。（坂本地区）

<教育面について>

- 再編小学校では、スクールカウンセラーや学校環境を維持する労務員など先生をサポートする方の配置も含め、十分な数の先生の人員配置をお願いしたい（算所地区）。
- 旧小学校で子ども達が大切にしてきたもの（生き物の飼育など）を、校区再編したら放ったらかしにしてはいけない。子ども達は大事にしてきたものを守りたい、という意識が強い（中村地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- これまで地域毎に行っていたイベント（みいとフェスタなど）は、校区再編により3地区の概念が無くなるのか。校区再編後も引き継ぎ、新しい校区の環境とうまく融合していけば良い（八木戸地区）。
- 仮に旧校舎をスクールバスの停留所とした場合、下校後に子ども達が旧校舎の校庭などで遊んでいくことが想定される。維持管理はどう考えているのか（中村地区）。

<スケジュールについて>

- スケジュールは延びる可能性はあるのか（匿名）。

<説明会について>

- 説明については十分理解できた（上御糸地区）。
- 今回のような就学前の説明会を、今後も同様の日数くらい実施してほしい。一般対象の説明会は子どもの面倒などの関係で参加しづらい（中村地区）。

- みどり保育所 ①令和2年10月14日(水) 17:00~17:45 参加人数:7人
②令和2年10月21日(水) 17:30~18:30 参加人数:12人
③令和2年10月26日(月) 16:30~17:20 参加人数:10人

<校区再編について>

- ・再編小学校は700人規模で1学年3クラス程度となると、1クラスあたりの人数がかなり多いのでは。コロナ禍の状況や目が行き届くかなど考えると心配である(北野地区)。
- ・役場周辺は造成が進んでいる。再編小学校が第2グラウンドへ建設されるともっと造成が進むと思うが、どこまで増えると想定して計画したのか(北野地区)。
- ・なぜ、北野地区を再編小学校区としてわざわざ大きい学校を造ろうとするのか。どうしても目が行き届きにくくなる部分が出てくる。自由校区にしても皆新しい学校へ行きたいと思うはず。北部の3校が集まった時点で1学年2~3クラスになれば3校の再編のみで良いのではないかと(坂本地区)。

<自由校区について>

- ・自由校区とは、再編小学校へ選択して編入できるということか(北野地区)。

<スクールバスについて>

- ・斎宮小学校について、台風時など送迎車の混雑を回避してほしいのと、雨が降った日は遠方からの児童の親は送迎したいと思っている方が沢山いるので、スクールバスの運用を早くしてほしい(上村地区)。

<教育面について>

- ・小中一貫教育の意味が良く分からないが(下御糸地区)。

<ささふえ保育所の移転について>

- ・第2ゆたか園をもっと大きな規模で建設することはできなかったのか。大淀、下御糸、上御糸の各地区の方たちが遠くの園へ行かなくても良いようにしてもらっていたらと感じる。保育園も地元の地域へ入れるシステムを作してほしい(坂本地区)。

<スケジュールについて>

- ・修正小学校の人数がかなり少なく、親としては多くの友達と接してほしい。ただ計画からすると、いつ再編なのか、通学先はどこか、はっきりしていない。できる限り早く計画していただき、転校せずとも良いように通学先を早く選べるようにしてほしい(修正地区)。

<その他>

- ・斎宮幼稚園をこども園化する話は無くなったのか。

- みょうじょうこども園 ①令和2年10月22日(木) 9:00~10:00 参加人数:47人
②令和2年10月22日(木) 11:00~12:00 参加人数:9人
③令和2年10月22日(木) 14:00~14:55 参加人数:15人
④令和2年10月22日(木) 16:00~16:50 参加人数:10人

<校区再編について>

- 第1期の再編時に再編小学校の規模をもっと大きくして1校区にすれば、自由校区等で懸念される児童がバラバラという状態や、建設費の削減、一部の学校が古いままといったデメリットを全て解決できるのではないかと。計画では同じ場所に2校目を建設するのであれば、その方が良いのでは(北野地区)。
- 例えば1校区にして校舎自体を2棟分一度に建設し、さらに1棟毎に半分のグループを作り、各学年で1学年3クラス程度を1つのグループとして授業等を運営していけば、縦の繋がりも充分でき、全体で1000人以上であっても目は行き届くような運用が可能ではないのか(北野地区)。
- 全国的にみて1学年5~6学級の大規模校は無いのか。大規模校にしたことで成功事例があれば、国の基準に捉われず1校区にした方が良いのでは。例えば1校区にしたことで更に削減できた費用を大規模校のデメリット解消の部分に充てることができれば、その方が良いのではないかと。全員が新しい学校へ一斉に通うことができる(本郷地区)。

<自由校区について>

- 自由校区の2年間の移行期間について、下の子は6年生で再編小学校へ転校する必要がある。下の子が卒業するまで斎宮小学校に通えるようにするなど検討の余地があるのでは。期間を設けることは必要と思うが(明星地区)。
- 自由校区について、高学年での転校は無いようにしてほしい(平尾地区)。

<教育面について>

- 小中一貫教育により中一ギャップの解消とのことだが、小中学校で同じ建物なら解決できないか。また、中学校に近い再編小学校と斎宮、明星の両小学校とで差が出ないか。中学校の先生が距離の遠い2校へ乗り入れできない時間帯が出てくると思うが(北野地区)。
- コミュニティスクールの県内など動向はどうか(明星地区)。
- 小学生と中学生のスタディチェックの数字に大きな開きとはどういう意味か(本郷地区)。
- 修正小学校が数年で無くなるかもしれないが、他の学校との交流に関する具体的な計画はあるのか(修正地区)。

<スクールバスについて>

- 明星小学校についても距離に関係無くスクールバスを運用してほしい。その方が児童の安全が守れる(明星地区)。

<スケジュールについて>

- 修正小学校の再編はいつか。転校しなくても良いように最初から斎宮小学校もしくは明星小学校へ通えるようにしてほしい(修正地区)。

第1・第2明和ゆたか園 ①令和2年10月23日(金) 16:30~17:20 参加人数:23人

②令和2年10月27日(火) 13:00~13:50 参加人数:34人

<自由校区について>

- 自由校区の移行期間が終了すれば、兄弟別々の学校に通うことが考えられるが、どう考えているのか(北野地区)。
- 未就学の子がいる。中町地区に住んでいるが北野地区に近いので、北野地区の通学団で通うことになるが、自由校区により北野地区の児童が全員再編小学校へ通ってしまう心配がある。中町地区も再編小学校の方が斎宮小学校より圧倒的に近いのに、なぜ北野地区で自由校区を区切ったのか(中町地区)。

<教育面について>

- 小中一貫教育を実施するのとしないので、違いはあるのか(斎宮地区)。

ご意見等記入用紙より

受付件数：27件（上御系校区：6件、下御系校区：3件、大淀校区：1件、

斎宮校区：13件、明星校区：3件、修正校区：0件、匿名：1件）

<校区再編について>

- 大淀小の耐震や子ども達の安全を考えると、校区編制を前向きに考えたが良いと思った。卒業を通っている小学校で迎えさせたいというのも分かるが、どこかで区切らなければ子ども達の安全性、地域との関係性も変わっていかないと思った。今後の地域の子も達が育ちやすい環境になる事を願い、学校方針など詳細を地域の方が理解できるよう配慮しながら進めてほしい（上御系地区）。
- 大勢が集まり様々な子と一緒に、いろんな揉め事が起きないか心配。今までみたいに知っている小学校に通わせる方が安心する（下御系地区）。
- 新しい小学校と古い学校との間に家がある方は新しい学校へ通わせたいと思うのは当たり前。大きな再編は考えず、単に北部を統合する方向の方が良いのでは（斎宮地区）。

<自由校区について>

- 下御系、大淀、上御系各地区の新学校区ということで良く、それ以外の小学校区の一部の地域を自由校区にする必要はないと思う。理由としては、1つは確立しているコミュニティを分解する必要がないため。2つ目としては、新学校を建てるにあたってわざわざ新たな線引きをする必要はないと思われ、新たな線引きをすることで必ず新たな問題が発生する。皆が近くて便利となれば良いが、実際、誰かが近くなれば誰かが遠くなる。一部だけ自由校区にするということは、一部の地域だけ優遇されていると捉えられる。道を跨いだら新しい学校へ通えない状況も生まれる可能性がある。公平とするのであれば、斎宮、明星、修正地区すべての児童を自由校区として選択できる権利を与えるべき。このような検討に多くの時間を費やすのではなく、1日でも早く安全な場所に校舎が建つように計画を進めるべき（上村地区）。
- 6年生になった時点で自由校区の子ども達が皆強制的に転校する事になると、今まで幼稚園や保育園から一緒に過ごしてきた友達と離れる事になり、残された子ども達の気持ち、転校したくないのに転校させられる子供達の気持ち、両方の子ども達の気持ちを考えているのか。また、6年生は小学校最後の1年で修学旅行もある。今まで一緒に過ごしてきた友達と一緒に卒業する事ができない子ども達の気持ちを考えているのか。せめて、令和7年度時点で斎宮小学校に在学している子ども達は、卒業の年まで自由校区制とすべきではないか（斎宮地区）。
- 自由校区の期間が2年間とあるが、自由校区終了時点で、転校したくない子ども達も強制的に転校することになったり、残された子ども達も急に友達と離れる事になってしまうし、子ども達の気持ちを考えているのか。子ども達の事を考えたら、令和7年度時点で斎宮小学校に在学している子は卒業まで自由校区制にするべきではないか（匿名）。
- 計画にあるような学校選択ができるようにしてほしい（北野地区）
- 計画通り、通う小学校を選択出来るようにしてほしい（斎宮地区）。
- 自宅から斎宮小学校までの通学距離を考えると、少しでも近くに小学校ができ、学校選択ができるとありがたい（斎宮地区）。

- ・家からは遠く線路や車通りが多く正直不安がある。近くの新しい学校へ通えるとありがたい（斎宮地区）。
- ・役場付近に住んでいるが、斎宮小までは距離があり、歩道が無く、車もよく通り危ないと感じる事も多いので、役場付近近くに小学校が出来れば通わせてあげたい。また、耐震のことも考えると、新しい小学校の方が安心と言うのもある（斎宮地区）。

<再編小学校の施設について>

- ・伊勢市みなと小学校みたいなおしゃれな小学校にしてほしい。
また、国道から南側には丈夫な高い建物が無いので、小学校兼避難場所として、計画通り第2グラウンドに3階建てくらいの丈夫な小学校を建設してほしい。そして、不審者や怖い事件も多くなってきたので、防犯対策もたくさん取り入れてほしい（斎宮地区）。

<教育面について>

- ・子ども達の交流や学べる場を守りつつ、安心、安全な教育環境づくりをお願いします（明星地区）。
- ・小学校だけでなく保育園、幼稚園も含めた児童教育も県町の教育委員会と一体になって検討してほしい（斎宮地区）。
- ・校区編制によって先生の人数や役等どのようにしていくか具体的に知りたい（上御糸地区）。
- ・行き届いた教育環境のため、十分な数の教員を配置して欲しい（上御糸地区）。
- ・少子化に伴い、校区再編はやむを得ない。1人1人の子どもにきめ細やかな教育が展開できるような再編をお願いしたい（佐田地区）。

<スクールバスについて>

- ・体力をつけるためにも歩かせたいと思っておりますが、やはり通学距離が遠いと感じるのと、帰宅時に1年生が我が子のみと思うので、お迎えが必要となる日が少し負担である。スクールバスの運用について前向きに検討をお願いしたい（尾野地区）。
- ・学校から遠方の児童の通学手段（通学バス）の確保を（斎宮地区）。
- ・校区編制でスクールバス通学になるのが不安。バスの運転手が変わる人だったり、居眠り運転などで事故などあっても困る（下御糸地区）。
- ・斎宮小学校区は東野、平尾地区は自転車通学で危険。校区内でもある程度通学距離のある地区についてはスクールバスの運用などで安全に配慮してほしい（斎宮地区）。
- ・校区編制により自宅から学校までの距離が遠くなり、登下校時の安全が確保されるようスクールバスでの登下校が必須と思う。スクールバスの停留所についても可能な限り多く設置してほしい。また、新しい小学校の予定地から約2kmちょっとの距離であり、小学校までの道は歩道がない（三井食品～大淀交差点あたり）。スクールバスの対象を一律の距離で線引きせずに通学路の状況も考慮した上で決めてほしい。
さらに、上記の歩道のない道は中学生の子達も自転車通学している道で通学の時間帯は車の交通量も多く、とても危険に感じる。歩道の設置も検討してほしい（大淀地区）。
- ・明和中学校の近くに小学校が建つということであれば、どうやって通学するのか、スクールバスであれば、その詳細が気になる（下御糸地区）。

- スクールバスについて、具体的な対象地域が気になる。今の上御糸小学校より通学距離がかなり長くなり、1年生の徒歩通学が心配（上御糸地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- 住みやすい街づくりを念頭においた校区編制を考えていただきたい（斎宮地区）。
- 旧校舎、体育館の活用方法（災害対策）も考慮してほしい（斎宮地区）。
- 未就学児童を持つ家庭や、これから子どもを持つとするとする家庭が家を建てる際に重要視する1つに、保育園や幼稚園、小学校といった子ども達が小さい頃に利用する施設が家から近いことが挙げられる。現在の計画では、役場の周りに全ての教育施設が集中することになっている為、役場周り以外の地区への若い方達の移住は今後少なくなると思われる。そうすると、その他地区は多くの老人世帯となってしまう、将来的に自治会運営等に支障が出るのではないかと（明星地区）。

<スケジュールについて>

- 息子が年少クラスなので、なるべく早くしてほしい（斎宮地区）。

<説明会について>

- 資料がとても分かりやすく、なぜ校区編制をするのか目的がよく分かった（上御糸地区）。